



設置ガイド

FOCUS
AMPLUS Co., Ltd.
Ver 3.2.1
2023/10/13

目次

P1 安全ガイドライン

P3 アクセサリーのチェック

P3 必要な工具

P4 設置レイアウト

P5 PC

P5 電源

P6 設置手順

P10 プロジェクターの設置



Installation Guide

FOCUS-V3-S



安全に関するガイドライン

ご使用前に必ずお読みください。指示に従わないと、重傷を負ったり、物的損害が発生したり、機器の保証が無効になることがあります。

設置はすべて認可を受けた業者が行う必要があります。

本ガイドに記載されているすべての取り付け作業は、契約業者が行ってください。不適切な取り付けは、人身事故や物的損害を招き、製品保証を無効にする場合があります。設置作業は、少なくとも2名の認可を受けた設置業者が行ってください。

FOCUS 天井ブラケットに関する注意事項

- 1) 天井ブラケットは、FOCUS を天井に取り付けるために特別に設計されています。追加の重量が加わると、破損や故障の原因となることがあります。
- 2) 振動や衝撃が発生する可能性のある場所には、天井ブラケットを取り付けしないでください。破損や故障の原因となります。
- 3) 天井ブラケットを取り付ける前に、天井の強度が FOCUS、天井ブラケット、プロジェクターを支えるのに十分であることを確認してください。天井面の強度が十分でない場合は、取り付け前に補強を行ってください。
- 4) 天吊り金具、組立部品、プロジェクター、FOCUS を絶対に改造しないでください。
- 5) FOCUS の動作温度を超える可能性のある場所には、天吊り金具、FOCUS およびプロジェクターを設置しないでください。過度の温度は FOCUS を損傷する可能性があります。FOCUS のレンズや光学部品が曇ったり汚れたりするのを防ぐため、天吊り金具は過度のほこりや湿気のない場所に設置してください。

その他部品の注意事項

- 1) 電源コードの取り扱い、取り付けには十分注意してください。誤った取り付けは、火災や感電の原因となります。取り付けの際は、以下の注意事項を守ってください：
 - 濡れた手で電気部品を扱わない。
 - 損傷や改造が見られる電源コードは使用しないでください。
- 2) 取り付け、最終調整後はすべてのネジをしっかりと締めてください。
 - 接着剤、潤滑油、油類は使用しないでください。
 - 取付後のネジは絶対に緩めないでください。
 - 電気工事を行う場合は、配線が取付ねじや組立ねじに接触しないようにしてください。
- 3) 落下防止のため、必ず落下防止ワイヤーを設置してください。

クラス A デバイス：本装置は、FCC 規則パート 15 に従ったクラス A デジタルデバイスの制限に準拠することがテストにより確認されています。これらの制限は、本装置が商用環境で使用される場合に、有害な干渉から妥当に保護することを目的としています。本装置は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅街で本装置を使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。



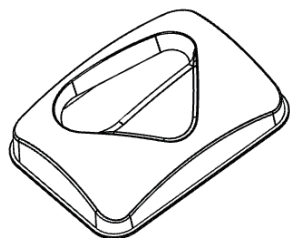
ヨーロッパ向け

USBHUB は原則壁の内側に設置してください。
やむおえず壁の外に設置する場合は素手で開けることができないカバーで HUB をカバーしてください。

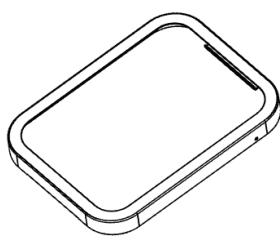
その他ご使用上の注意はユーザーガイドをご確認ください。

付属品の確認

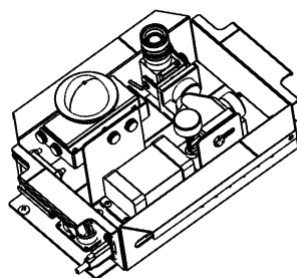
取り付け前に、まず付属品をご確認ください。



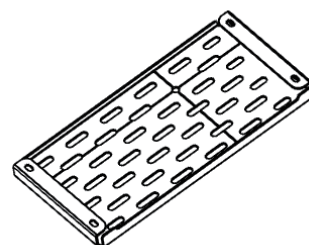
トップカバー x1



金属フレーム x1



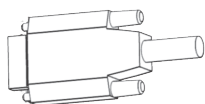
本体 x1



天井ブラケット x1



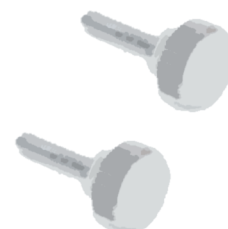
電源 x1



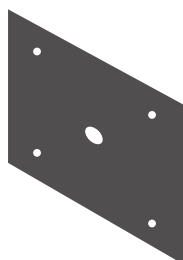
USB ケーブル x2



HUB x1



ローレットネジ x2

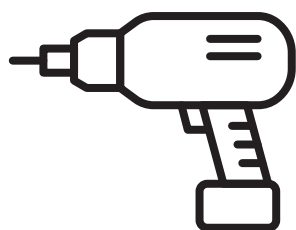


キャリブレーションボード x1

この設置パッケージには、FOCUS マウントを天井に固定するためのネジは含まれていません。設置用ネジは、最低でも 5.5kg の重さに耐えられるものをお選びください。

ネジの種類は天井材によって異なります。適切なネジの選択については、内装業者にご相談ください。

ご用意いただく物

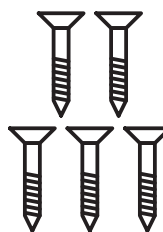


インパクトドライバー

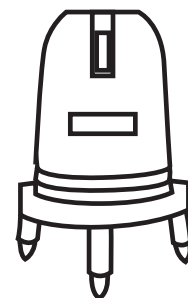


プラスドライバー

8cm以上



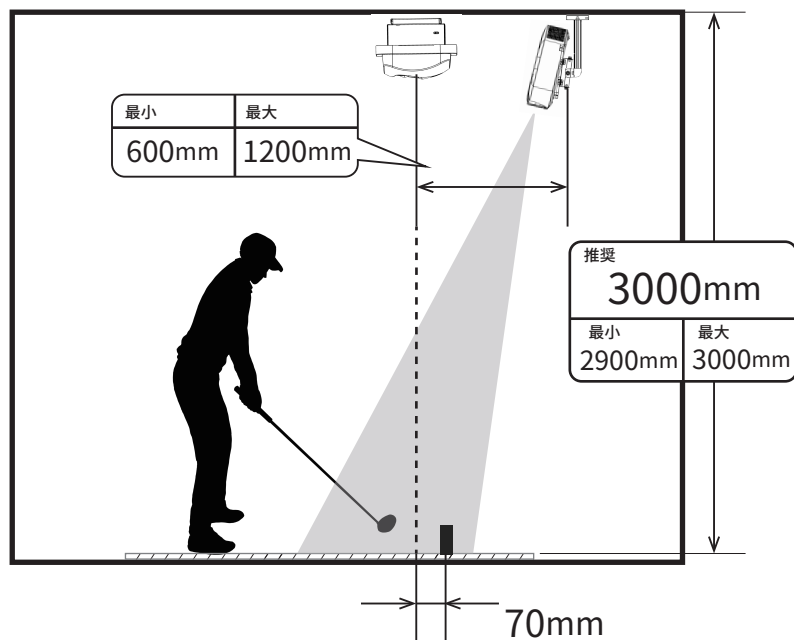
天井ブラケットネジ x5



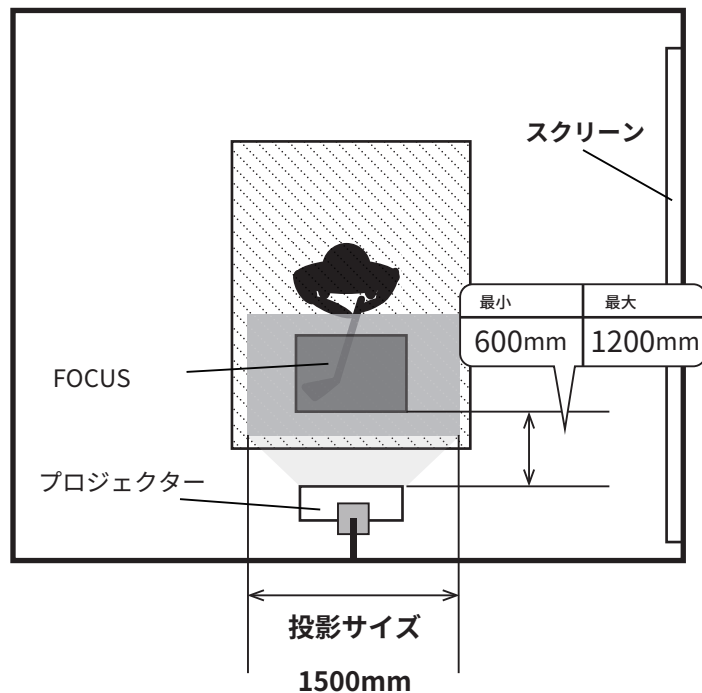
レーザー墨出し器

設置レイアウト

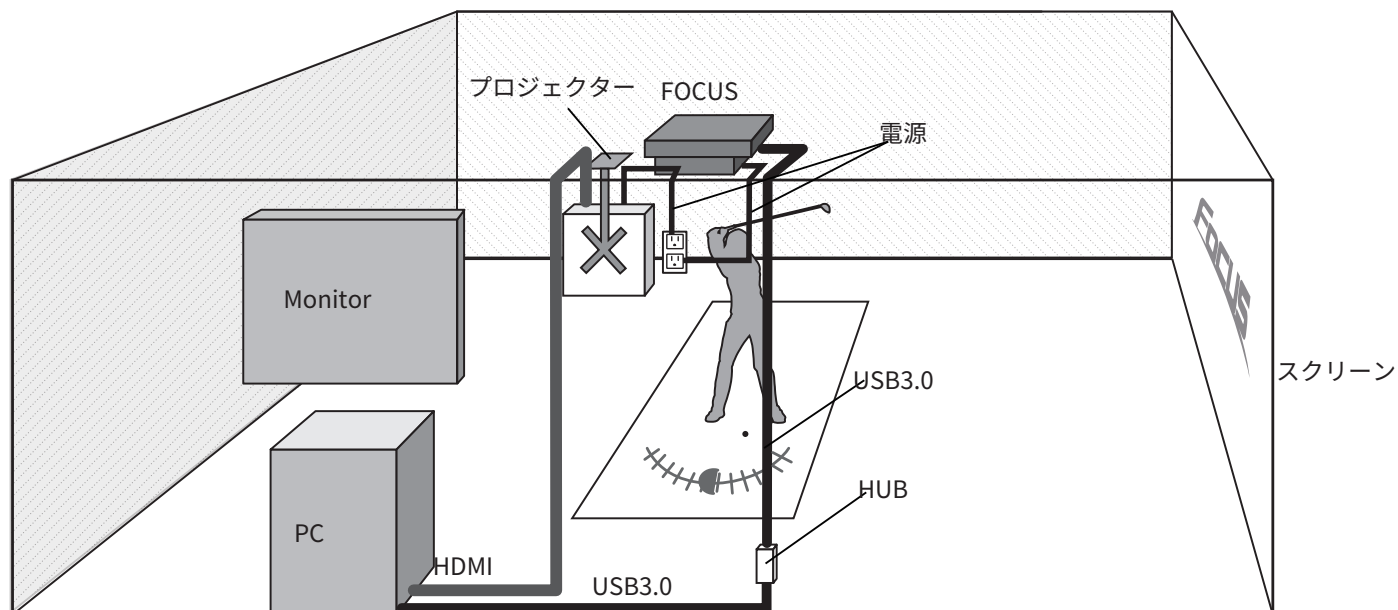
後方から見た図



上から見た図



配線レイアウト



- USB ケーブルを HUB に差し込み、PC の USB3.0 ポートに差し込みます。
- FOCUS は、ショットマットの表面から 2900mm ~ 3000mm の高さに設置することを推奨します。



同じ PC で複数の USB デバイスを使用する場合は、USB 3.0 PCIExpress x1 ホストカードの追加をお勧めします。ホストカードを増設する際は、必ず PC 内部の電源に接続してください。

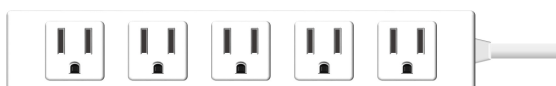
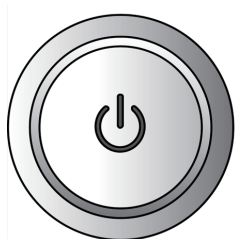
本体付属の電源が、グラフィックボードや他の電源と干渉する場合は、別途 SATA ケーブルをご使用ください。



SATA ケーブル

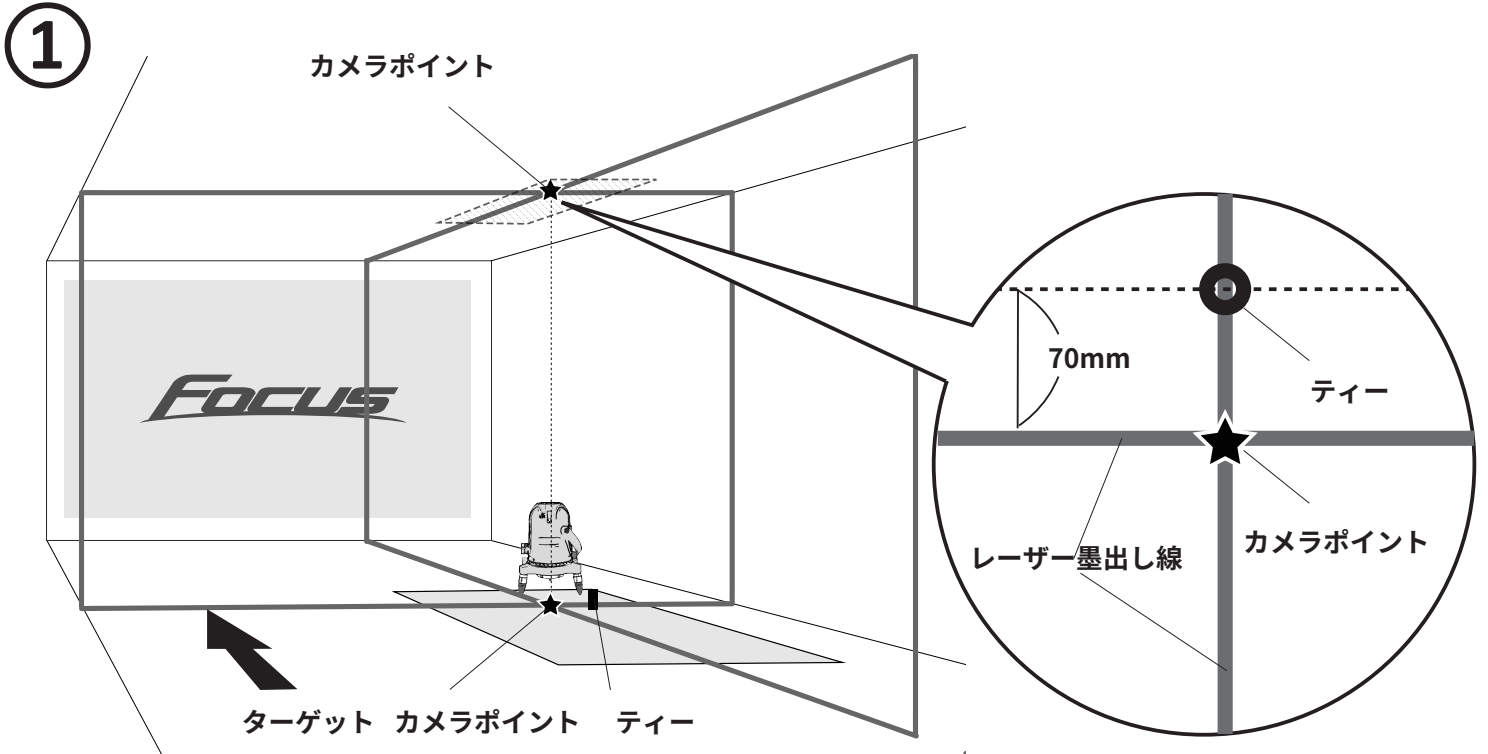
電源

- FOCUS には電源スイッチがありません。使用後は電源プラグを抜いてください。スイッチ付きの電源タップを使用するか、無線リモコンコンセント電源タップを使用することをお勧めします。
- 本機に付属の電源コードは FOCUS 本体と一体のものであり、汎用品ではありません。絶対に他の電気機器と一緒に使用しないでください。



設置手順

作業を進める前に、設置前のチェックリストと安全に関するガイドラインを参照してください。



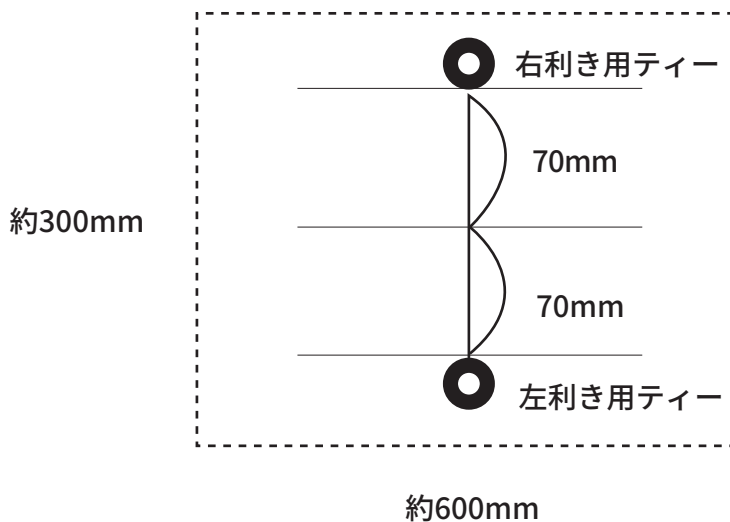
レーザー墨出し器でカメラポイントを特定する。

FOCUSは、カメラの中心がティーから70mm下になるように設置する。そのため、正確なカメラポイントを特定するためにレーザー墨出し器を使用します。

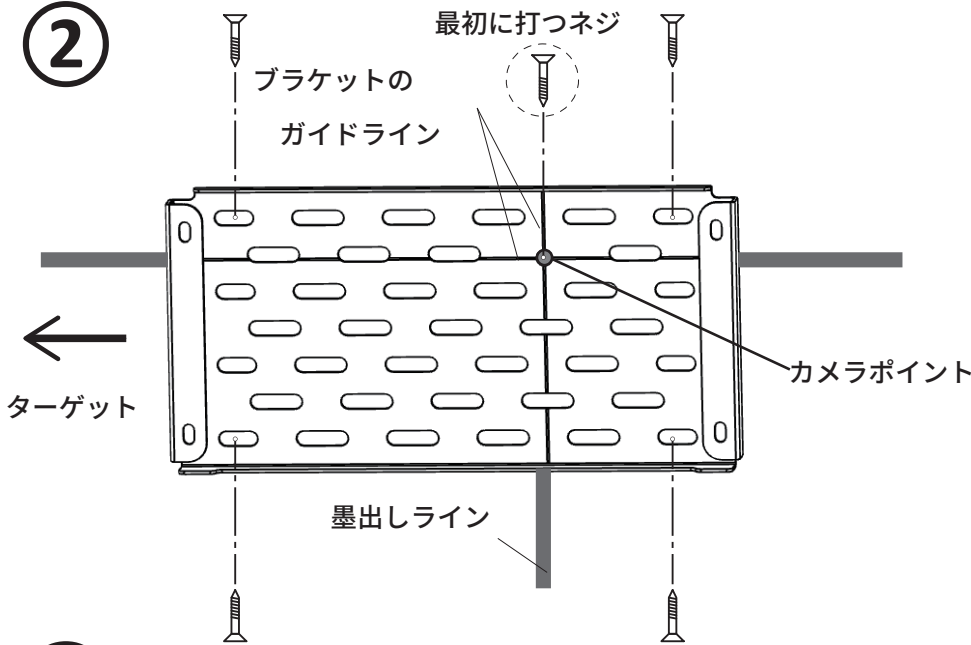
撮影エリアについて

FOCUSが捕捉できる範囲は、縦 約300mm、横 600mmです。

左右兼用打席の場合、ティーの位置については、下図を参考に配置してください。



②



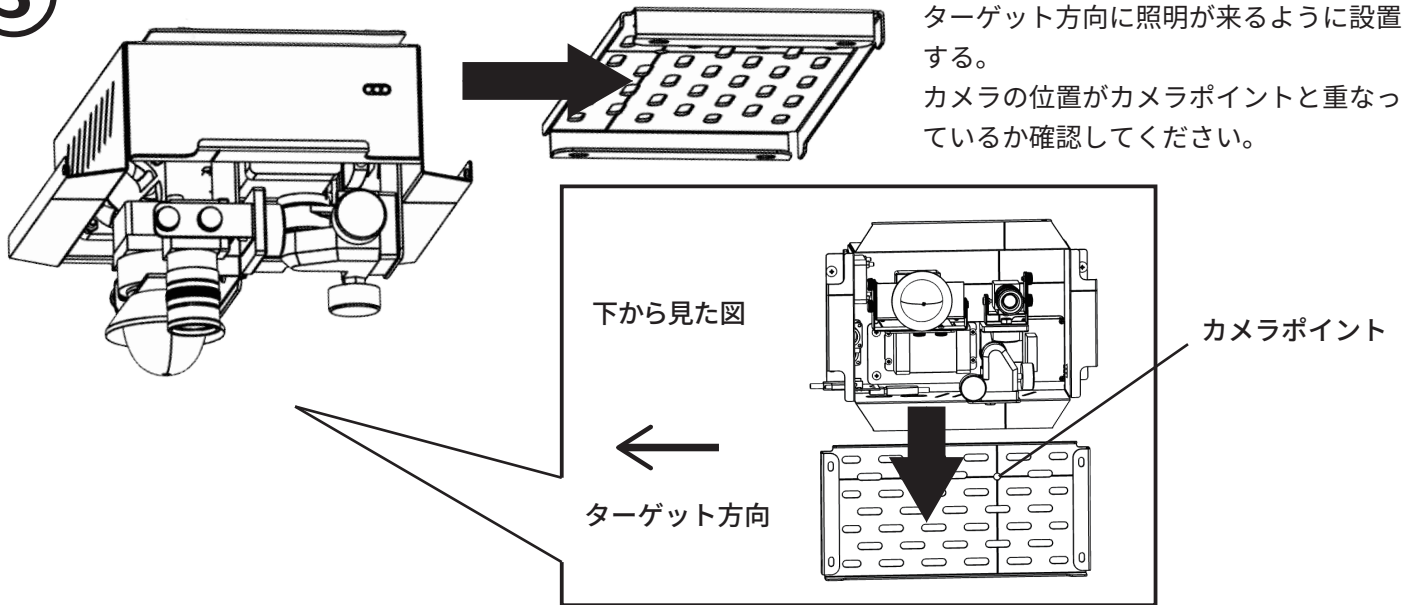
天井にブラケットを取り付けます。

カメラポイントを合わせたら、ネジで固定します。
その後、墨出しラインとブラケットのガイドラインを合わせ、4点ネジで固定する。

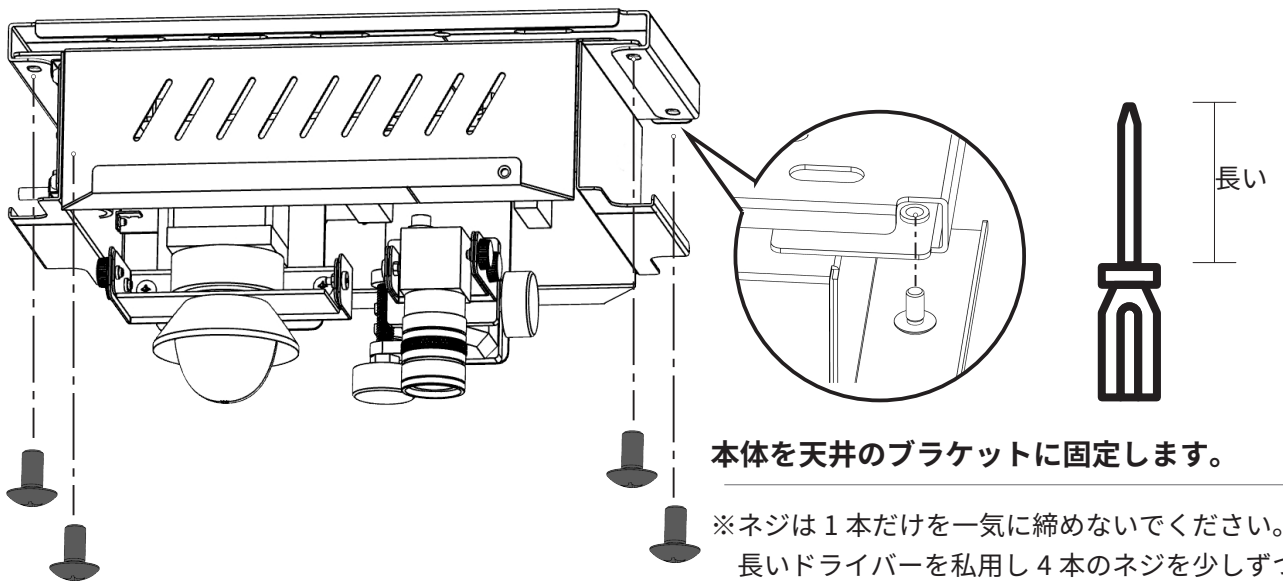
本体をスライドさせ、天井のブラケットに差し込みます。

※方向に注意してください。
ターゲット方向に照明が来るように設置する。
カメラの位置がカメラポイントと重なっているか確認してください。

③



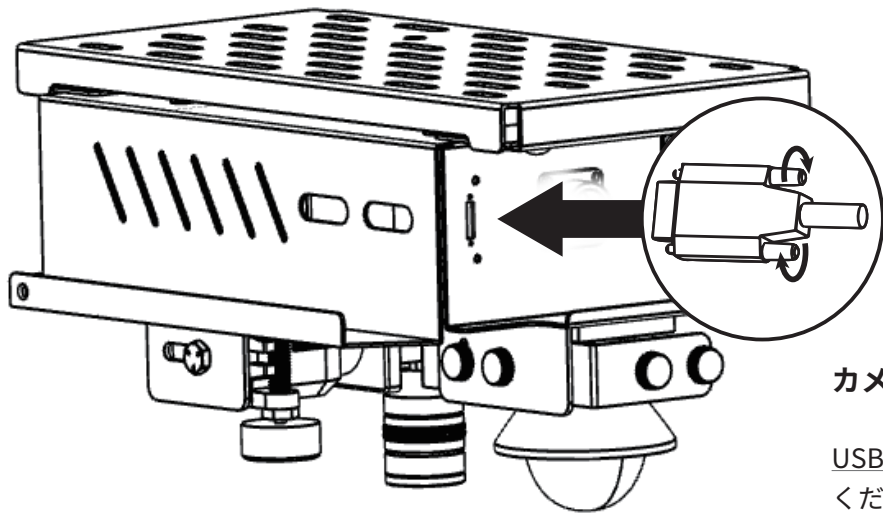
④



本体を天井のブラケットに固定します。

※ネジは1本だけを一気に締めないでください。
長いドライバーを私用し4本のネジを少しずつ締めてください。

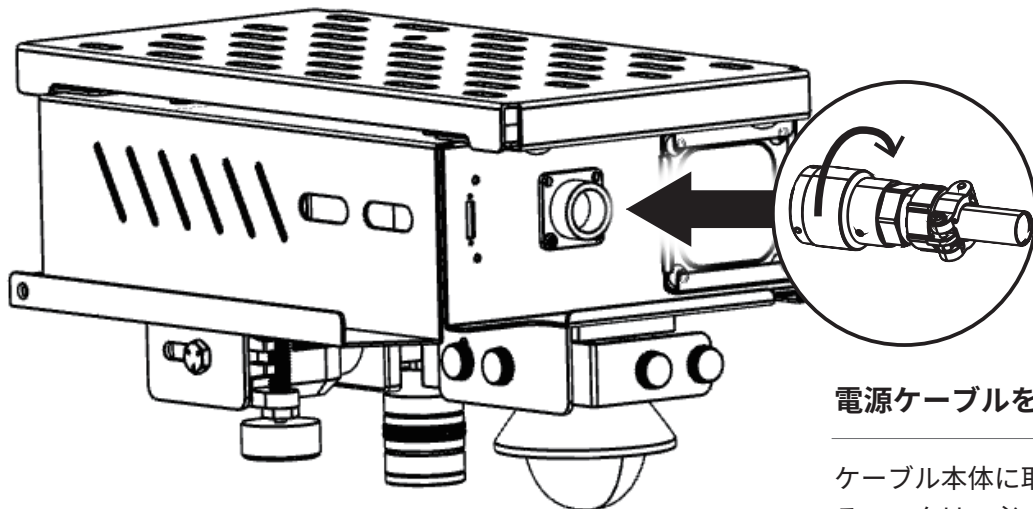
5



カメラの USB ケーブルを接続します。

USB ケーブルのロックネジを、必ず止めてください。

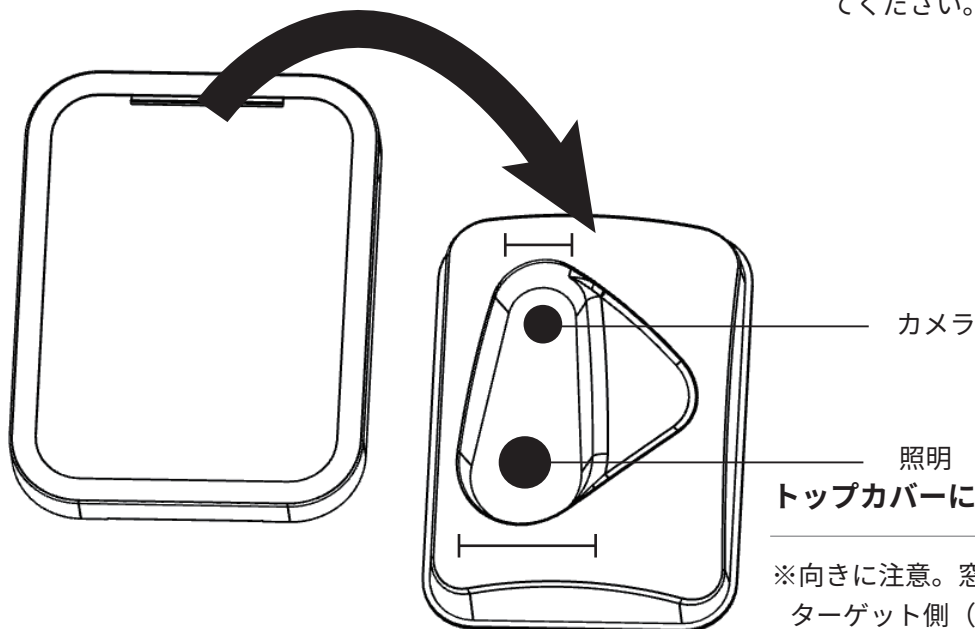
6



電源ケーブルを接続する。

ケーブル本体に取り付けられているロックは、必ずしっかりと締めてください。

7



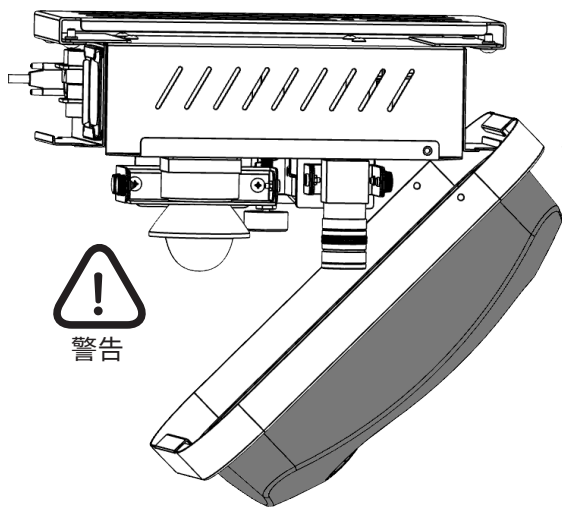
カメラ

照明

トップカバーに金属フレームを重ねる。

※向きに注意。窓が大きく開いている側がターゲット側（照明側）。

8



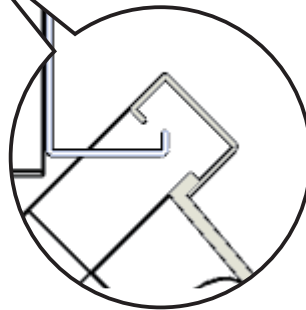
カメラ側からケースを取り付けます。

ケースを逆にすると LED が破損する恐れがあります。

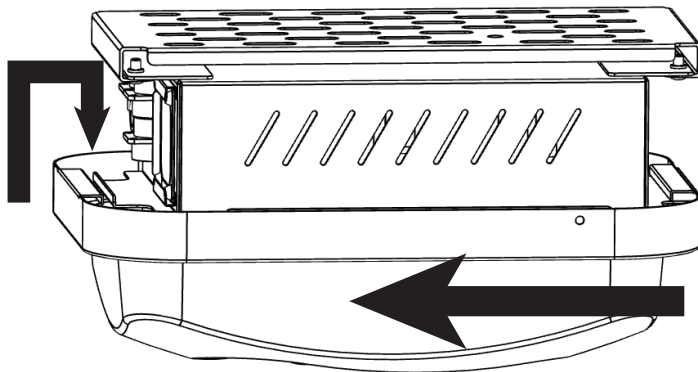


警告

端が LED に当たらないように注意すること。



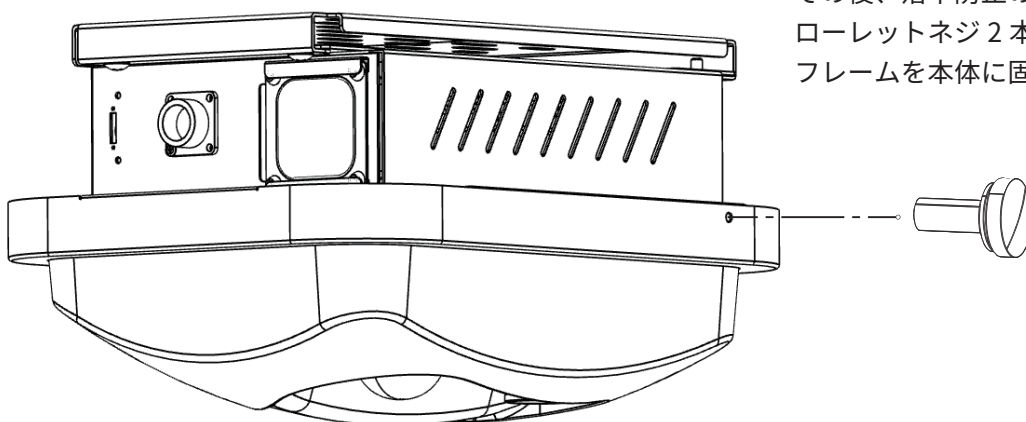
9



一度 LED 側に寄せる。

カメラ側のカバーを本体に引っ掛けた後、カバー LED の方向にスライドさせると取り付けしやすくなります。

10

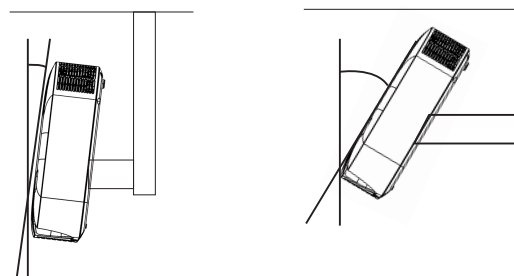
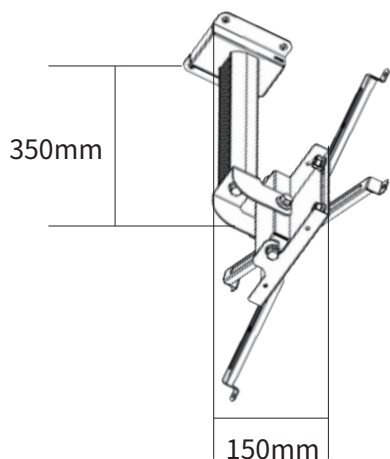


その後、落下防止のため、ローレットネジ 2 本でフレームを本体に固定する。

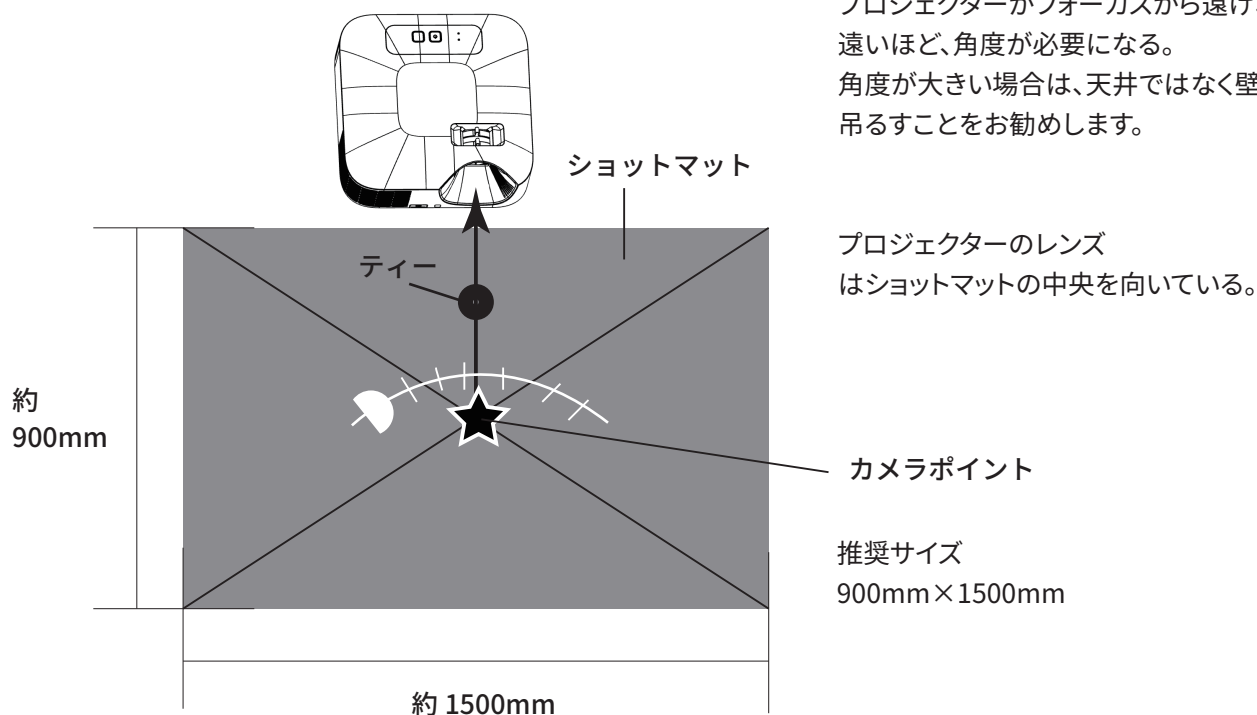
プロジェクターの設置

プロジェクター天吊金具

参考例：シアターハウス スパイダー 2



プロジェクターがフォーカスから遠ければ遠いほど、角度が必要になる。
角度が大きい場合は、天井ではなく壁から吊るすことをお勧めします。



プロジェクターのセットアップ

FOCUS が正確にプロジェクションマッピングを行うためには、以下の点に注意してください。

- プロジェクターのアスペクト比が 16:9 に設定されている。
- プロジェクターは、投写画像に合わせて正しい台形に調整されています。
- プロジェクター取付金具は、プロジェクターのキャリブレーション用にプロジェクターを傾けることができます。
- 投影画像の画像の大きさは 900mm×1500mm が推奨されている。
※大きい場合はプロジェクターの設定で表示を小さくすることができます。